



DNW-21009 の概要

課題名 : 非結核性抗酸菌症治療薬創出のための標的検証
主任研究者 (Principal Investigator) :
港 雄介 (学校法人藤田学園藤田医科大学医学部)
ステージ: 標的検証前期

【標的疾患】

非結核性抗酸菌症

【創薬標的】

生合成経路 Y 上の酵素 Z

【創薬コンセプト】

非結核性抗酸菌の生合成経路 Y の阻害は強力な抗菌作用を発揮する。

【モダリティの設定】

低分子化合物

【創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス】

以下のことが PI らにより明らかにされている。

- 1) 結核菌の生合成経路 Y 上の酵素 Z の阻害は、結核菌に対し強力な抗菌作用を示す。
- 2) 結核菌と非結核性抗酸菌 (*Mycobacterium intracellulare* と比較) の酵素 Z の相同性は高く、酵素 Z の阻害は非結核性抗酸菌においても強力な抗菌作用が期待できる。

【科学的、技術的な優位性】

非結核性抗酸菌の研究は、遺伝子解析などが困難であるため基礎研究が進んでいない。PI は結核菌の生合成経路解析法を確立しており、非結核性抗酸菌と結核菌は同属の菌種であることから、これら解析法の非結核性抗酸菌への応用が期待される。

【支援ステージにおける目標】

抗菌作用に関与する生合成経路 Y 上の酵素 Z の標的妥当性が確認できること。

【関連特許】

無し

本資料は、創薬総合支援事業（創薬ブースター）による支援の終了時の情報をもとに作成しています。